

立候補予定 3人が公開討論



公開討論する(左から)豊岡氏、石井氏、近藤氏＝三島市一番町の市民文化会館

豊岡氏 「東街区を再開発」 石井氏 「財政再建が重要」 近藤氏 「医療費一部無料」

三島青年会議所(三島JC)は5日夜、任期満了に伴う三島市長選(11日告示、18日投票)の立候補予定者3人による公開討論会を同市一番町の市民文化会館で開いた。現職の豊岡武士氏(79)と新人の市議石井真人氏(43)、会社経営近藤正文氏(46)が、三島市の未来や施策、JR三島駅南口東街区再開発事業などについて独自の主張を披露した。

市民120人以上が会場に集まり、約100人がリモートで視聴した。最重要視する政策や4年後の三島に向けて、豊岡氏は「三島駅南口東街区再開発を成し遂げる。働く場所をつくる」、石井氏は「財政再建が重要。状況を改善し財源を生み出す環境にする」、近藤氏は「パパ、ママの医療費無料化で人口が増える」と述べた。

石井氏は「開発は賛

成、中身は検証が必要だ。1を切ると工事費が10%上がる費用便益も重要。地盤、地下水など県の要請にも応えていく」と述べた。

近藤氏は「反対する。三島市民の土地を売るというものであり土地の価値が下がっている時に売るのはどうか。高くなつてから売ればいい」と話した。

同事業に関連した三島駅の南北自由通路について、豊岡氏は「現在の三島の財政では困難」、石井氏は「再開発事業と共に検証をしていく」、近藤氏は「お金をかけてまでやる意味がない」と答えた。